

平成 23 年度チョコボラ・プロジェクト

～「公民館」の活性化による知の循環型社会の構築～
調査研究報告書



(山本公民館チョコボラ・プロジェクト)



(由利本荘市チョコボラ・プロジェクト)



(北秋田市チョコボラ・プロジェクト)

秋田県生涯学習センター

もくじ

はじめに	1
第1章 「チョコボラ・プロジェクト」事業概要	2
第2章 「チョコボラ・プロジェクト」事業の取組	
第1節 山本公民館チョコボラ・プロジェクト	4
1 地域・公民館の現状	
2 第1回山本公民館チョコボラ・プロジェクト協議会	
3 「公民館まつり」実現に向けて	
4 「山本公民館まつり」概要	
5 第2回山本公民館チョコボラ・プロジェクト協議会	
6 事業を振り返って	
第2節 北秋田市チョコボラ・プロジェクト	10
1 地域・公民館の現状	
2 第1回北秋田市チョコボラ・プロジェクト協議会	
3 実施事業	
4 事業を振り返って	
第3節 由利本荘市チョコボラ・プロジェクト	15
1 地域・公民館の現状	
2 第1回由利本荘市チョコボラ・プロジェクト協議会	
3 実施事業	
4 第2回由利本荘市チョコボラ・プロジェクト協議会	
5 事業を振り返って	
第3章 子どもの体験活動と公民館事業に見る知の循環型社会構築の現状と課題	
第1節 子どもの体験活動の現状と課題	20
第2節 公民館活動の現状と課題	26
第3節 地域の教育力強化に向けた公民館活動の現状と課題	34
第4章 提言 ～地域の教育力と公民館～	38
第1節 地域の教育力と教育委員会の役割	
第2節 地域と公民館	
第3節 公民館と学校	

資料編

第1章	調査票による調査の結果	
第1節	調査の概要	1
第2節	児童・生徒への調査	5
第3節	保護者への調査	32
第4節	市町村教育委員会事務局への調査	69
第5節	公民館及び公民館類似施設への調査	81
第2章	調査票	
第1節	児童・生徒用調査票	103
第2節	保護者用調査票	107
第3節	市町村教育委員会事務局用調査票	111
第4節	公民館及び公民館類似施設用調査票	117

※資料編第1章及び第2章は、
秋田県生涯学習センターHP <http://www.pref.akita.lg.jp/lifelong/> に掲載しています。

付 録

- ①市町村別調査結果分析シート（児童・小学校）
- ② " （生徒・中学校）
- ③ " （保護者・小学校）
- ④ " （保護者・中学校）

※付録は、市町村教育委員会担当課及び調査実施校・公民館に送付したCD-ROM版報告書に収録しています。

はじめに

当センターが文部科学省と共同で研究した、平成22年度「秋田県社会教育による地域の教育力強化プロジェクト」調査研究（※以下、「平成22年度共同研究」）によれば、市町村合併に伴う職員の削減とそれに伴う多忙化や予算の削減等により、公民館のもつ重要な役割である「学習支援機能」と「地域づくり機能」の両面を弱めつつある傾向が見られた。

県内で行われている公民館主催の学級・講座等の多くは、住民の趣味・教養など「個人の要望」によるものが中心となっており、特に社会教育主事が配属されていない館ではその傾向がより高くなっている。地域課題解決に向けた「社会の要請」による学級・講座等の充実のためには、公民館職員の資質向上が求められているが、自市町村、県、県外他組織主催のものも含めて、研修機会が全く無かった公民館は66館（38%）を数えた。

平成16年、中央教育審議会報告で出された「今後の生涯学習の振興方策について」では、今後重点的に取り組むべき分野の一つとして「地域の教育力の向上」が挙げられている。「平成22年度共同研究」によれば、学校・家庭・地域が連携することにより「地域の教育力の向上」に効果が【十分ある、どちらかといえばある】と答えている住民は70%おり、小学生の保護者に限っていえば90%を越えている。しかし、三者が連携して地域の教育力の強化を図っていると答えている公民館は40館（23%）にすぎない。本県では、子どもを対象とした各市町村教育委員会・公民館事業、学校支援地域本部事業や放課後子ども教室推進事業など地域の力を活用して子どもを育てている地域はあるものの、全県的には地域の教育力が十分に活用されているとはいえない状況にある。

しかし、「平成22年度共同研究」の一環として小坂町中央公民館と角館公民館で取り組んだ「チョコボラ（ちょっと公民館でボランティア）・プロジェクト」は、公民館の活性化と地域人材活用に大きな成果を残した。小坂町中央公民館では、昨年度から取り組んでいる地域人材やボランティアの活用を図る公民館の取組が評価され、平成23年度優良公民館として文部科学大臣表彰を受けた。また、角館公民館では「サポーターの会」が中心となり市民と公民館をつなぐ「角館公民館だより『きずな』」を作成し、発行することで、市民を巻き込んだ公民館活動の充実を図っている。このように、学校・家庭・地域が連携し、公民館が核となることで、より一層地域の教育力の充実が図られていくことが期待できる。

これらのことをふまえ、今年度の調査では児童・生徒及び保護者に対して、地域活動・体験活動、公民館に対する意識や参加・利用の実態についてアンケートを実施した。その結果を教育委員会事務局及び公民館等に提示し、それらについての取組や考え方もあわせて調査した。さらに、地域の生涯学習・社会教育の核となる「公民館」の活性化と人材育成に向けて、3地区で「チョコボラ・プロジェクト」を実施し、公民館を核とした地域の教育力強化の在り方についても研究した。

本調査研究報告書が県及び市町村生涯学習・社会教育関係者の活動指針として活用され、地域の生涯学習・社会教育の核である「公民館」の活性化と人材育成につながり、地域の教育力の強化の一助となることを期待したい。